

## ●漁況情報

- 3月末から二宮の定置網でブリ（銘柄ブリ及びワラサ）の漁獲がトン単位で続いており、4月1日には約18トン漁獲されました。
- 3月11日に解禁になったしらす漁は、4月に入ってまとまった漁獲が見られるようになりました。昨年秋から不漁が続いていましたが、大漁の報に安堵しました。  
湘南しらす公式サイト <https://shonan-shirasu.org/>

## ●浜の話題

- 3月6日、みうら漁協金田湾地区のワカメ種苗生産漁家 菊丸さんに静岡県での普及員とワカメ養殖漁家3名が訪れました。静岡県ではメジナ等による養殖ワカメの食害被害が多発しており、普及員が、神奈川県内の漁業者の食害対策の取組み等について説明しました。
- 3月8日、横須賀市東部漁協 走水大津支所では、（公財）神奈川県栽培漁業協会で生産したクロアワビの稚貝（殻長25mm 2,500個）を同支所の地先に放流しました。放流に際しては、放流直後の生残性を向上させるために、漁業者自らが潜水して放流を行いました。同漁協の地先にアワビの稚貝が放流されたのは、8年ぶりとなります。



走水大津支所におけるアワビ放流の様子

- 3月9日、岩漁協海士会は岩沖のカキ筏で養殖しているカジメの生育状況の確認を行いました。2月に種挿しをした際よりも大きくなっていることが確認できました。今後は生育状況の確認をしながら、移植などを検討していくようです。



養殖カゴを引き揚げる様子 カジメ幼葉

- 3月15日、長井町漁協 トラフグ延縄漁業者グループ福会会長の長助丸さんに、読売新聞の取材があり「相模のとらふぐ」ブランドの魅力と合わせて、当センター栽培推進部の種苗放流等の取組みなどについて4月4日の誌面に掲載されました。今漁期は福会一丸となってテレビや新聞等を通じた「相模のとらふぐ」ブランドPRを強化し、魚価もコロナ禍以前の水準まで回復しつつあります。

読売新聞オンライン記事 <https://www.yomiuri.co.jp/local/kanagawa/news/20230403-OYTNT50123/>



トラフグ延縄漁の様子 丸々と太った旬の天然・釣物「相模のとらふぐ」

- 3月16日、小坪漁協所属漁業士の下で、ワカメ品種改良に向けた交配種付けを試行しました。前日に長井町漁協所属漁業士に収穫頂いた早生ワカメの品種と、小坪地区の天然わかめ由来の養殖メカブを混ぜて種付けし、早生で肉厚なワカメの育種を目指します。相模湾側では養殖ワカメの食害対策のため、種挿しを12月下旬以降に遅延させており、成長が早く肉厚で製品歩留まりが良い品種が求められています。



天然由来(手前)と早ワカメメカブ 天然由来(左)と早ワカメ(右)は同じ丈でも重量が1.5倍違います

- 3月23日、みうら漁協南下浦支所金田湾地区の大型定置網に、標識タグの付いたスズキが入網しました。このスズキは、ジャパングームフィッシュ協会が千葉県富津沖で昨年8月21日に標識放流したものでした。
- 3月27日、小坪漁協所属指導漁業士のワカメ筏で、昨年12月20日より中間育成した早熟カジメを、栽培推進部研究員が計測しました。カジメは当初平均 $22 \pm 10$  cmだったのが平均 $37 \pm 14$  cmまで大きく成長しており、一時当センターに持ち帰り更に育成して、種を放出する9月以降に小坪地先の磯焼け海域に設置して、カジメの繁茂を促します。



逗子沖で成長した早熟カジメ 水産技術センター前の海で育成を開始(4月12日)

- 3月27日、平塚市漁協は、今年の6回目の海底耕耘を実施しました。水深3~6mの砂底域で海底耕耘機を曳き、海底を耕してチョウセンハマグリやダンバイキサゴ等の貝類の生育に適した底質に改善します。

- 3月29日、小田原市漁協青年部の活動の一環で小田原漁港新港蓄養水面にて、キャベツを餌に用いたムラサキウニ養殖が開始されました。2か月程度養殖し、身入りをよくしたうえで出荷する予定とのことです。



ムラサキウニ



ウニ養殖カゴ



垂下した養殖カゴ

- 4月6日、藤沢市漁協の「湘南はまぐり」が、日本テレビのnews everyで紹介されました。番組は生中継で、番組出演者が冷凍はまぐりの酒蒸しを試食しました。
- 近年トラフグの回遊・分布域が変化し、福島県でもトラフグの漁獲量が増加しております。福島大学と福島県水産資源研究所では、回遊動向を把握するため、相馬市の松川浦漁港でトラフグ標識放流を実施しました。ピンク色のダートタグが付いておりますので、見かけた方は、福島大学 TEL 024-504-2114 か、福島県水産資源研究所 TEL 0244-32-0793 までお知らせ下さい。

**電子タグのついた  
トラフグを探しています**

ピンク色のダートタグ(FS 001~)も装着

**電子タグ (↓拡大写真)**

印字：  
ご連絡ください！  
福島大学 和田敏裕  
TEL 024-504-2114

見かけたら下記までご連絡をお願いします！  
魚を捕獲した際の状況もお知らせください  
(捕獲した年月日・場所・全長・体重)

**<連絡先>**

- ・福島大学 和田敏裕 TEL 024-504-2114
- ・福島県水産資源研究所 TEL 0244-32-0793

福島県のトラフグ放流告知ポスター